

1. 戦争体験・被爆体験に触れる

私が生まれる前に病死した祖母は長崎の出身で、そのことを見た事があるそうです。この話は小さい頃から何度も母に言われてきました。しかし、11月が起きると、原子力事故の恐ろしいものばかり、全く知りませんでした。日本人として身に覚えがあります。

時間の経過とともに、戦争・原爆による被災を生き抜いた方々は、確実に減少していきます。直接・間接に話を聞く機会も、次第に減ってきているようです。長崎は、もともと、北九州の小倉に投下される予定

私の祖母は原爆投下の日、北九州に住んでいました。初回は北九州は雲や、製鉄所の煙がひどく、おかげで私は産まれていなかったと聞いて、私にも聞かずに、1945年という年代が出てきて、答えは「おかげで、お取にいい」でした。

4年前に広島平和記念資料館に父と二人で行った。ボランティアの学生がドームの前で説明してくれた。館内は沢山の見物客がいたが、7割近くが外国人だった。外国人の方が被害に興味があるのだろうかと思った。小学校の頃に被爆者の体験談を聞く機会があったのですが、その頃は「原爆」というものもよく分からず「Fビ、かわいそう、ひどい」程度に考えていました。しかし、今こうやって戦争についても学び、一体何があったのか分からず、このような映像を見れば色々な思いがこみあげてきます。それから私たちのエネルギーの使い方、戦争との関わり方を考えていかなければならぬ。特に私たちのような若者。

偶然、私も4年前に広島市の平和記念資料館に行きました。2回目の訪問でした。展示の雰囲気が変わってマイルドになっていてびっくりしました。と、同時に、やはり、外国人ばかりで日本人が少ないのが気になりました。おそらく、皆さんの世代は、戦争体験・被爆体験を直接聞ける最後の世代になると思われると思います。話を聞いた体験を大切にしてください！

2. 原爆について知ること

この道の途中で、広島と長崎について原爆では、何を学ぶか、は、より自由になります。そして、高校までに学んだことで、大学で学ばなくてもある程度の知識を自分で身につけることができるようになっているはずだから、「教えてくれなかった」は、皆さんの場合には、もう通用しません。なお、広島14万人、長崎7万人と言われている。

高校までも「選択科目」はありました。しかし、大学

万万人以上の人が亡くなった大きな災害だったにも関わらず、先生が「何月何日」だから知らなかった。状況に悲しくなりました。自分の身近なことではないと、人間興味を持たないことに心が苦しくなりました。広島、長崎の原子爆弾投下のことは、8月には「NHKで何度も取り上げられ、当日も追悼の棒子が放送されているのを知っている。最近ではできているが、高校卒業までは毎年テレビの前で黙祷していた。今でも大学から帰宅したときに黙祷しているが、時間が違うので意味はあるのだろうか。毎年、頑張って生きながら心が苦しくなる。

3. 世界の認識

現代のアメリカ人がどう思っているのか、知りたいと思った。今回授業で紹介された谷口氏のスピーチは心にも印象に残った。原爆については複雑な背景があり、今でも国々の間で複雑な問題が顕在していると思うが、色々な事情があっても越えてはならない一線というものを世界の共通の認識として確立すべきだと思った。

アメリカ人の半分程度以上は「戦争を早く終わらせアメリカ人の犠牲を減らすためには、原爆投下は必要だった」と考えているようです。アメリカ人も含めて、そのような認識を深めるにはどうすればいいか。次回、考えます。

授業日程について

- 12月23日(月) 第13講(試験前の最後, 1回休みがあったので実際は12回目)
- 1月20日(月) 期末試験
- 1月27日(月) 第14講(テスト返却とまとめ)

4. ねずみ算的增加

ドラえもん、ポケットのピクニックが増えるの、
ねずみ算のこと。知らずには小さいころから、等比数列
で学んでいるのと同じだ。

ドラえもんのように、映像化して表現すると、恐ろしさがわかりやすいです。原爆の中でも似たような仕組みで連鎖的に反応が起こります。

その通りで、大変意外なことに、世界は小さいです。それをベースにいろいろ考えるのはいいことです。優しくなれる、トランプともつながる、いい発想だと思います。

世界の人口の話を知ったとき、私たちは意外と狭い世界にいるんだなと思った。友達の友達の部分では知り合いの知り合いというふうに続ければ世界の人口を簡単に越すことができるようになった。(知り合いが500人の場合)

知り合いの知り合いの知り合いの話で世界の人口を越すまであるという間で世界中の人の存在を近く感じるが、本当にみんながお互いの存在を近く感じられればお互いをも優しくなれるはずだと感じました。

私もドラえもんのおかげで2子と信じたい。

先日、テレビで親戚や先祖を調べる番組をやりました。(親戚の親戚が何人だったという内容) もし、これをねずみ算したら、世界中の人がみんな遠い親戚

ということになるのでは？ これもいい発想です。1世代25年程度とし、中国の歴史4000年で160世代の世代交代とします。1組の夫婦に3人の子どもがいたとする(1.5倍の人数になる)と、160世代で世界人口をはるかに超えて天文学的数字になります。

カラオケでよく機械(スピーカー)の前で歌うとハウリングする音があつた音で謎が解けた。音がグループしているという表現は、いい表現だと思いました！

デジタルの悪循環の先には破滅が待っていると思ふ。負のスパイラルを止めようという結果、更に悪循環を加速させてしまうのはとても怖い。実際には、ある程度で止まります。日本でも。ただ、原理的にそうなので、抜け出せないようです。

5. 科学と戦争

科学と技術の発展で人類は良い方向に物事を進められる反面、悪い方向にも進められることが怖いと思いました。そして、悪い方向で使った時、とり返しのがないことが起きてしまうことを改めて知りました。

精神分析で有名なフロイトに、有名な物理学者アインシュタインが手紙を書きました。「今後、人類が戦争を起こすと、人類が減ってしまうほど科学による兵器が進歩してしまった。人間は戦争を回避できるか？」といった内容です。フロイトは「戦争を回避できそうにない」と答えたそうです。今回の授業のテーマの1つです。

人が戦争をするし人上兵器化は避けられないと思った。私は皆さんに希望を見出しています！

6. その他

福島第一原発の事件はとても悲しいことだ。亡くなった方が多数いたり、
帰れない方がいたり。東日本震災が起こるまでは原発は永久機関
なんだって思っていたが、廃棄物をどうするかという課題が出たときに
永久機関ではないかと不謹慎ながらも気づいたのを覚えている。

なるほど、そのような認識を持っていたのですね…。国は「高速増殖炉」という原子炉について、原子炉を稼働すると、もっとエネルギーが得られる、といったような誤解を招きやすい説明をしていました。その影響がもしも。

自由が九のついでに熊口の人間の中を、それ以上を求めて知る事が
できる。同世代の500トンのトビが飛来する大学でこの止割が明らか
感嘆の。広島・長崎の年と日に今は覚えているが、都が移上げて存在したので
不安になり、上げられなかった。これが周りに同調してしまう
ことなのか。

ぜひ、見つけましょう！2つ見つければ、桜美林大学関係者であることを入れて、日本でただ一人です！

3人ほど手をあげていましたよ！
安心して手をあげてください！